

【神戸大学キャリアイベント】

大学名： 神戸大学

参加企業様： 内山工業(株)、シャープ(株)、東亜合成(株)、(株)パロマ、(株)マキタ、(株)マクロミル

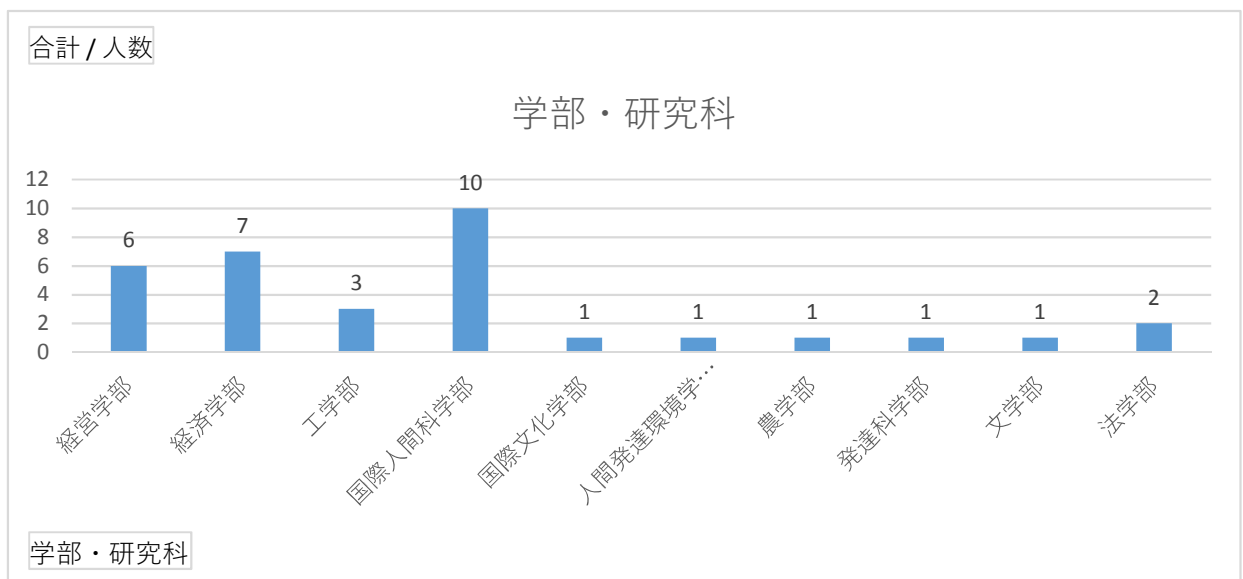
企画・運営： (株)シンクロン、アイセック神戸大学委員会

開催日時： 2018年10月20日（土） 13：00～16：30

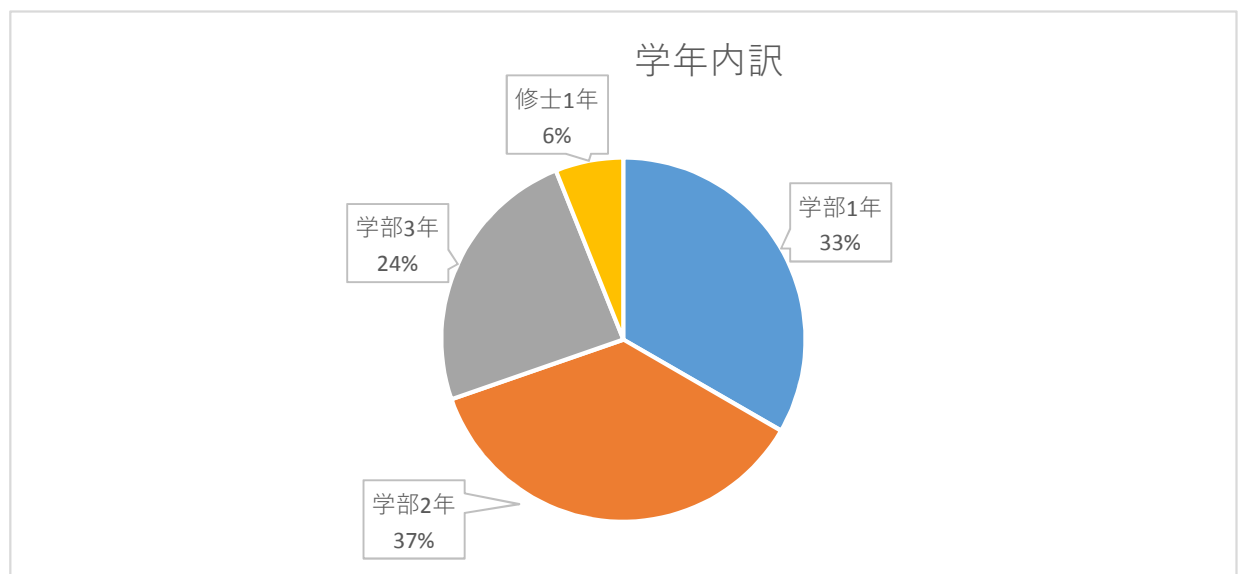
開催場所： 神戸大学 K棟教室 K401

総来場数： 35名 （ 回答数： 33名 未回答数：2名 ）

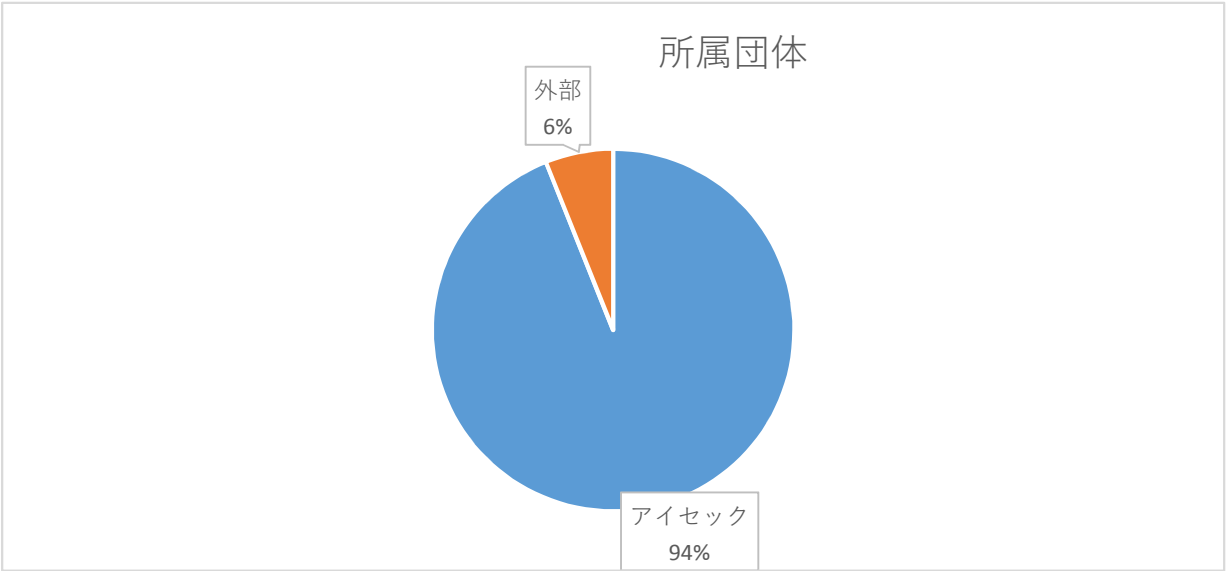
■学部の内訳



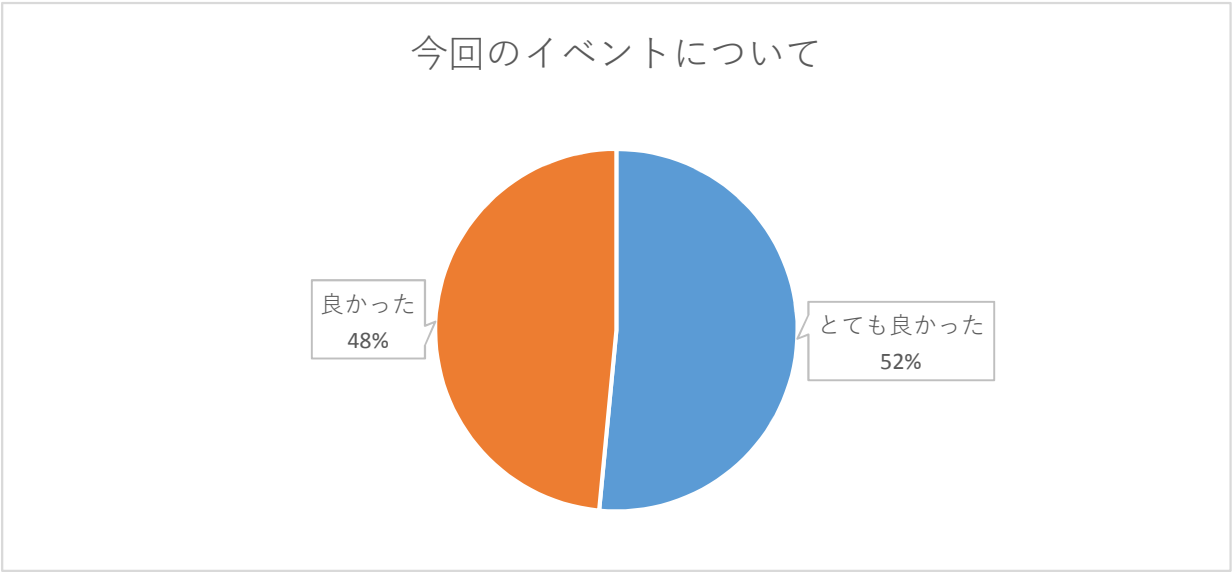
■学年の内訳



■所属団体について



Q1.今回のイベントについて



Q1-2.その理由は？

「企業の方とフランクに話せる機会」はすごく私にとって楽しいことだから。
フランクな感じで良かった
フランクに話してくださっていたので、楽しかった。
普段聞けない企業さんの考えや、普段聞けない質問をできたから
新しい発想などいっぱいありました。
フランクに、自分の聞きたいことを聞けた
有意義だったから、フランクにはなせた
お菓子美味しかった、話楽しかった、オレ採用したいらしい
あまり具体的な理由とかはないんですけど、感覚で社会人の方と喋るのはやっぱり面白いです

カッコよく働く方々に出会えたこと。人事、採用ってすごくステキな仕事やな～って思いました。パロマさんとのフリートークでは、メーカーとして顧客に商品を渡すことで価値をそのままもらった原価分与えられる素晴らしさを感じた。マクロミルの社員さんからは、社会貢献、曲げない信念に基づいて働くカッコよさを感じました。自己分析の重要性。人事、育成としての心構えみたいなものも感じました。

それぞれの会社が、どのようなことを大切にしているかを見れた。

企業の方のお話を聞けてとてもおもしろかったです

いろいろ勉強になりました。

本音でいろいろ話してくださった、普段関わることのない業界について知ることができた

今まで触れたことのなかった業界の裏とか知れた。

企業様の生の声を直に聞けたから

馴染みのない業界であるがゆえに情報が新鮮だった、企業の人事さんが基本的にみんないい人でフランクに話せたのがよかった。

自由に話せる時間が多かったこと。
おかかのBGMとかお菓子ある休憩とかも、よかったです。

ロールモデルになるような人と会って話すことでキャリアについて考えることができたため

聞きたいことを聞くことが出来たから、幅広い企業の方と触れることが出来たから

仕事が好きと言う企業の方がほとんどだったのでお話を聞いていてワクワクしました
海外展開されている企業が多かったこと、とても近い距離でお話が聞けたこと

仕事観や仕事をしている意義などを聞こうと思っていたが、より就職活動の実情に近いことをフランクに聞けたと思っている。理系の人が多く行く会社に来てもらうことで、より実際に働くとなれば、という話が聞けた。少し就職活動に希望が見えた。

登壇者面白かった。時間に対する人数もちょうどよくて質問がたくさんできてよかった。

マイクロミルさんのお話がとても楽しかったです。その他のお話も両親とかに目慢して伝えたいなあって思いました。

働くことについての社会人の生の意見を聞けたり、今後の就活に向けて聞きたいことを聞けた！漠然としていた就活に対するイメージが、ちょっとだけイメージつきやすくなった！

自分が聞きたい質問を自由に聞けたのがよかった

自分が興味のあるものづくりの分野の企業ばかりが集まっていたから。
今まで働くことにネガティブなイメージを持っていたけど、すごく楽しそうに話されている企業の方を見て考えが変わったから。企業の人とフランクに話せる機会は貴重だと思ったから。

前回よりフランクだった

パネルトーク面白かった

なかなか名前の知らない企業さんがいて楽しかったです！

イベントに求めていたものを得られたこと。普段ならなかなか聞けないようなことが多く聞けたこと。

社会人の方に質問できたりして有意義だったから。お菓子もよかった。

人と話しやすい空気だった。

Q2.今回のイベントで気づいたこと、得たことは何ですか？

働くとは楽しいということ。笑

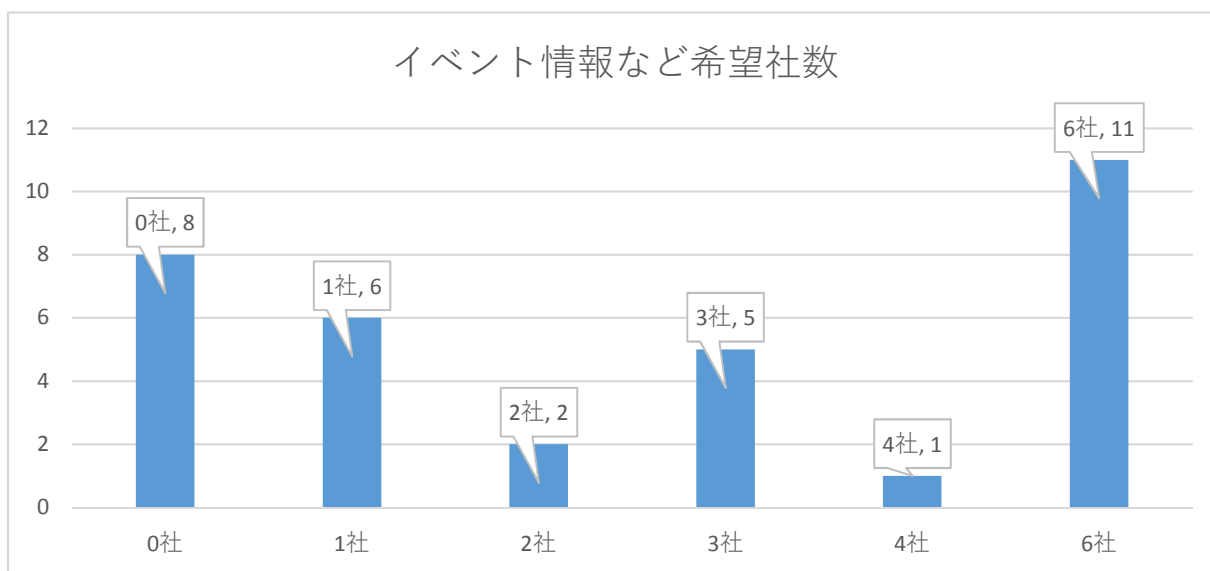
働くの楽しいかもしれないかと思った

自分が就職するうえで何を重視するか、考える観点を得ました。

会社で働くって、意外と希望に満ちてるなってこと。

これから自分のやりたいことをイメージつきました。
採用担当の声を聞けてよかった。自分が採用を行うときに参考になることが多かった
主体性、1番！！
理系の方が働くの楽しそう
やっぱり、最低限+αって大事ですね
理由のところに書いた通りです。
会社側も、学生と触れあう機会を持つことは、採用や今後のイベント設計において重要なんだということ。
働くことは企業でなくても身近な生活でできているんだなということ。
社会人になると壁がある
・学生側が社会人の方々に対して面接をしているような状況で、いつもと逆なので変な感じがしました。こういう就活の形が時代に合っていると思います。
・いろいろな業界について、なにに悩んでいるのかなどを聞くことができました。
■若い人のほうが自分の会社に対する評価が辛口になる傾向あってなんでだろうとすごく気になった。
■B2Bで知られてない企業はたくさんある。
どんな人を採用したいのかを聞けて、自分たちがアイセックでやっていることは確かなんだと確信した
ものづくり産業の価値
メーカーやっぱ面白そう。
自分の好きな商品を作って売ってという当たり前のようなことは、やっぱり幸せなのだなと思った。
愛知県面白そう。企業規模によって採用ニーズが異なるために最適な採用イベントの形式は異なること。
若者って思ったよりも無知だし、逆に俺は若いことには無知
研究者は思ったより社会との接点があること
文系の仕事は入り口としては「営業」「経理」などかなり絞られていそうだなということ。
自分はまだやりたいことが表面的にしか見れていない。
どんな能力があるかよりも、その会社でどんなことがしたいかという熱意がある人が欲しい。
もっといろんな会社を見て、時間をとって考えなければならなかったと思った。
教育に思い持ってる人いるなーとか。
大手、ベンチャー、スタートアップの違いとかしっかり考えたいなとおもった。
めちゃくちゃ本音で話せたというか、聞きにくいことも答えてくださってよかったです！
文系の職種として、やはり営業が多いが、そらは最初のうちで、その後自分なりにやりたいことしたいことを発信して、それを実現していくことが出来る。
会社の中で少しでも自分がやりたいことをやるためには、入社してから、これがしたい！と発信し続けるのが大切だということ
ものづくりが好きなので自営業をしたいと思っていたのですが、今回話を聞いていく中で、製造から販売まで携われる企業に就職する道もあると気づいたこと。
単純に今まで知らなかった企業を知ることができた。今のうちから様々な企業の情報を収集していこうと思った。
自分のロールモデルになる人を考えられてないなと思いました。
かなりみんな現状への満足度が高い
お金をいただいても価値を必ず提供できるわけではないお仕事もあることに気づいたのと、それに自分は満足できるのか、考えさせられました。
最近ベンチャー企業にしか目を向けていなかったけれど、大手企業には大手企業のよさがあるということ。
仕事に誇りを持っていて、語ることの出来る社会人の方がこんなにもいるんだということ。
学生のうちから、自分が何をしたいのか考えておくべきだなと感じた

Q3.今回のイベントで今後の情報が欲しい企業は何社ありましたか？



Q4.これまでにインターンシップに参加したことはありますか？

